

■フィンランド：フェンノボイマ社のハンヒキビ1号機建設許可は2019年に

2017年9月18日付の報道によると、フェンノボイマ社はハンヒキビ原子力発電所1号機の建設許可が、2018年着工の当初計画より遅れ、2019年発給の見込みと発表した。フェンノボイマ社はハンヒキビ・サイト内に120万kW級のロシア型原子炉であるVVERの建設を行うべく、2015年6月に建設許可申請を行い、2016年11月には安全評価に関わる文書を原子力規制機関（STUK）に提出していた。同社社長は、「作業の進捗状況を精査し、その結果、建設許可の取得予定時期を2019年に変更する」とし、「同機は、ロスアトム社が来年完成予定で建設を進めているレニングラード2号機をリファレンスプラントとしており、その建設で得られた知見は我々も活用できることになっているので、最終的な結果に自信を持っている」とも述べた。